

第2次小鹿野町総合振興計画基本構想(案)に関するパブリックコメント実施結果

第2次小鹿野町総合振興計画基本構想(案)に関するパブリックコメントを実施した結果、提出されたご意見及び意見に対する考え方を次のとおり公表いたします。

1 実施概要

(1)実施期間 平成31年1月15日(火)～平成31年2月15日(金)

(2)周知方法

- ①広報おがの 平成31年2月号掲載
- ②小鹿野町ホームページへの掲載
- ③各庁舎等での閲覧(5箇所)

小鹿野庁舎町政情報コーナー、両神庁舎おもてなし課窓口、保健福祉センター窓口
町立図書館(両神ふるさと総合会館)、町立図書館文化センター分室

(3)提出者数 2名(電子メール2名)

(4)意見の数 4件

2 意見の内容並びに意見を考慮した結果及びその理由

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方・対応等
1	<p>人口9,000人を超えるまちについて</p> <p>持続可能なまちづくりを掲げているのであれば、計画期間だけの人口予測ではなく、年齢3階級別人口の表記により、今後、50年先(2070年)の人口予測まで盛り込んだ計画としたうえで、本計画である10年間の取組を計画するのがよい。</p> <p>そして、その人口予測を資料編の「2 少子化が進行しているまち」の「図 年齢3階級別人口の推計」に加えるのはどうか。</p>	<p>本計画の人口の推計は「国立社会保障・人口問題研究所」による推計値を使用していますが、最新の2018年データは、2045年までしか公表されておりません。よって、2070年の推計を記載するには、独自の推計になってしまいますので、本計画では信頼性を保つため、2045年までの推計とさせていただきます。将来にわたり持続可能なまちを目指し、計画の策定に努めて参ります。</p>
2	<p>人口9,000人を超えるまちについて</p> <p>人口減少対策に取り組まない場合、今後、10年間で500人以上の人口が減少し8,500人になると予測されているが、U・Iターン対策を進めて毎年50人以上を確保することの実現性の担保はどのように考えているか。</p>	<p>本町の最も大きな課題は人口減少問題であり、特に子育て世代の減少と出生数の低下が課題となっております。そのため、若者の移住・定住対策の推進を図ることが重要であり、若者世代の定住や子育て支援策、産業経済の再生、移住・交流対策に重点を置き、いつまでもこの町で暮らし続けられる、また、暮らしてみたくなるようなまちを目指すことで、人口減少の抑制を図って参ります。</p>
3	<p>第5章計画達成のために(P21)</p> <p>文言の修正と文章の配置変更について「実現性の高い計画づくり」の文言を修正し、「効率的な行財政の経営」に配置変更してはどうか。</p>	<p>文章内容を検討した結果、文言を修正し、文章の配置を変更しました。</p>
4	<p>持続可能な開発目標(SDGs)について</p> <p>長期に渡る計画であり、多くの課題を解決する上でも、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方をフレームとして取り入れることが良いのではないかと、また、このことを基本に各種取組の見える化を検討してほしい。</p>	<p>今後のまちづくりにおいて、持続可能な開発目標(SDGs)の理念や方向性を取り入れることは、末永く幸せに暮らすことのできるまちづくりにおいて、重要なことであります。本計画の各種取組は、持続可能な開発目標(SDGs)の理念や方向性を踏まえて取り組むよう努めて参ります。</p>